

令和6年度 事業計画

1. 基本方針

インボイス制度が昨年10月に導入され、シルバー人材センター（以下、センターという。）は、多額な消費税の支払い財源確保のため、経営方針の大きな変革が求められます。インボイス制度の導入に伴い、センター運営の安定的発展を妨げられ、地域社会の活性化に貢献してきた、会員の活力は低下傾向となり、組織の弱体化となることが懸念されます。

会員が得る配分金は、少額であるため、免税事業者の立場でありました。そのため配分金に対する納税が免除されてきましたが、インボイス制度導入後は、配分金に対しても10%の消費税の納税が義務付けられ、会員は「課税事業者」に登録し自ら消費税を支払うこととなりますが、課税事業者への登録を会員に強制することは困難であり、申請の手続きは煩雑な作業を要し、会員一人ひとりが課税事業者になるのは難題であると推測できます。その結果、消費税の納税は、センターが負担せざるを得なく、その財源確保が経営に重大な影響が生じる理由であります。

一方、強大な組織力を持つ農業協同組合には、特例措置を認めインボイス制度の適用免除を認めている事例もあり、厳しい経営状況で、地域の下支えを担うセンターに対しインボイス制度除外を認めないのか理解に苦しむところではありますが、当センターは、粘り強く制度の免除を目指す運動を継続し続ける決意であります。

また、会員の減退傾向が続く状況は、組織存立の基盤に直結する事態であり、会員増強対策は緊急な課題であります。少子高齢化による就業人口の減少は、各産業の停年延長により60歳以上の離職者の減少を招き、センターへの入会要員不足の起因となっておりますが、一方では、センターから紹介する就業先が希望職種に沿っていないことも要因として反省すべきものがあり、特にホワイトカラー向の就業先確保の不足があげられますので、多くの会員が活躍できる希望に則した就業先の開拓に尽力いたします。

今後、センターに求められる対応に、高齢者の健康促進と女性会員の増強があげられており、高齢者の健康促進については、フレイル予防を参考に会員が、家にこもらず体力に合った作業を通じて体を動かし、外気に振れ、仕事を通じて仲間を増やし、毎日を心豊かに過ごせる活動の場を提供することに努めて、女性会員の増強については、女性に関心を持てるイベントの開催や女性が働きたくなる就業の開拓が急務であります。この問題解決を計る為には、会員拡大部会を中心としたプロジェクトチームを結成し早急に対応してまいります。

2. 令和6年度 基本計画

- (1) 運営基盤の強化
- (2) 会員増強
- (3) 就業率の向上

- (4) 安全就業への取り組み
- (5) 研修会・講習会の開催
- (6) 社会貢献の推進と普及啓発活動
- (7) シルバー学校の継続

3. 事業実施計画

(1) 運営基盤の強化

- ① 令和7年度より、請負形態で会員が就業するには、フリーランス新法が導入され、就業開始時には就業条件の明示書等が必要となり、事務対応はデジタル化が推奨されております。
会員のデジタル化対応は、スマートフォンを利用し、ショート・メール・サービス（SMS）やSmile to Smileを活用することが望ましいことから、デジタル環境の整備とデジタル機能の強化を図り、スマートフォンの講習会を開催し、会員がデジタル対応に取り残されないよう全力を尽くして進めてまいります。
- ② 新型コロナウイルスとの共存に向けた新たな生活様式を念頭に置き、会員が安心して就業できるよう、新型コロナウイルスの感染防止に十分に配慮します。
- ③ センターの適正な事業運営を期すため、春日部市役所・いきいき埼玉・近隣のシルバー人材センターと情報交換、連携を深め、センターの発展と地域社会の貢献に努めてまいります。
- ⑤ 新たに作成した中期計画書に基づき、事業強化を進めてまいります。
“ For the Next generation 次世代のために ” 【令和6年度～令和10年度】
- ⑥ 「報告・連絡・相談」を更に徹底し、会員各位と事務局、また、職員間の意思疎通と情報等の共有を図ってまいります。

(2) 会員増強

- ① 入会説明会は引き続き毎月開催します。
また、好評を得た「女性向けの入会説明会」や「庄和地区での説明会」も、それぞれ年3回開催し、会員増強を目指してまいります。
- ② 春日部市のイベントに参加し、入会促進用で配布するノベルティグッズの見直しを行い、センターの認知度を上げ会員増強を図ります。
また、会員が知りあいの方を紹介する「会員ご紹介キャンペーン」についても既存の会員に関心を持っていただける内容に変え、会員が新たな会員を紹介する制度の構築に努めてまいります。
- ③ 市内各地区の自治会で開催される定例会議等に参加し、地域との信頼関係を深め、センターのチラシ回覧やポスター掲示等の協力を依頼し周知を図ります。
- ④ 春日部市の施設である、高齢者憩いの家や公民館等に、センターのポスター掲示やチラシの配架を引き続き依頼するとともに、定期的に訪問し、ポスター・チラシの整理、貼り替えを行い、常に新しい情報の発信に努めてまいります。
- ⑤ 春日部市役所ロビーおよびハローワークでの入会相談会を継続して実施します。

(3) 就業率の向上

- ① 新年度の上期と下期に「出張就業相談会＝お仕事マッチング会」を開催します。事業部会が中心となって、会員に来てもらうスタイルではなく、市内公民館を活用し会員へアプローチをとり、希望する仕事の紹介を行います。
- ② 除草作業は、センターにとって、多くの会員が就業する職種ですが、酷暑での屋外作業のため、就業希望者離れが深刻な課題となっています。環境整備の改善として、夏グッズの支給（タンブラー、熱中症対策備品）などを実施していますが、更なる環境整備を行います。就業対応も除草の機械化として、無線操作による無人除草機械の研究やドローンを用いた就業現場の確認、タブレットを使用した写真データの管理など、デジタル対応を検討してまいります。
- ③ 令和4年度より開始した『トータル・サポート』事業の更なる事業展開として、三脚を必要としない植木剪定に対応する「ちょこっと植木班」、小規模な除草現場に対応する「ちょこっと除草班」を立ち上げ、高齢となった会員の受け皿となり、お客様の対応を待たせている期間の短縮を目指してまいります。

(4) 安全就業への取り組み

- ① イエローカードの配布のみでは、事故減少の効果が期待できません。同じ事故を繰り返さないために、事故を起こした会員を対象に「安全就業研修会」を開催します。何故事故が起きたのか？どうすれば防げるのかを明らかにし、現場で活かします。
- ② 従来は会員記入の事故報告書のみで、事故を判断していましたが、今後は書面を基に、現場を確認（実況見分）し事故を再点検します。事故原因や、対策をまとめ他の班にケーススタディとして活かします。
- ③ KYTトレーニングを通じ、事故を未然に防ぐ風土を定着させる空気を醸成させます。就業する本人の目線で、作業工程や職場に潜む危険性を考え解決することでケガや事故を未然に防ぎます。
- ④ 草刈り作業において、カルマーを使用することで、飛び石事故を防ぐ効果があります。カルマーの使用は、除草班に限らず多くの就業先で使用できるよう発注者および就業会員へ働きかけることを継続します。多くの飛び石事故はナイロンコードに起因しており、使用禁止にすることで事故を削減します。
- ⑤ 自転車の転倒による会員の事故が増加しており、市役所の協力を得ながら安全運転講習会を開催します。

(5) 研修会・講習会の開催

- ① 高齢者の事故増加対策として、75歳以上の後期高齢者会員を対象に講習会を開催します。
また、フレイル予防では、センターが未使用の道具もあるため内容の充実を図り

新たなフレイル予防講習カリキュラムの制作に努めてまいります。

- ② 他団体が主催する健康体操等の講習会に参加し、知識やスキルをセンターが開催するイベントに取り入れ、会員へ周知してまいります。
- ③ ワークシェアリング講習会の内容を見直して、会員一人ひとりの接客接客に対する意識の向上に努めてまいります。

(6) 社会貢献の推進と普及啓発活動

- ① センター主催の「清掃ボランティア」は、参加会員が統一されたベストを着用することで、一体感を持ち地域の環境美化活動に努めてまいります。
- ② コロナ禍で休止していた「音楽ボランティア」は、市内の高齢者施設等を対象に訪問して、生演奏と語りを通して交流を深め、センターの魅力アップを図ります。
- ③ 全戸配布の「かすかべシルバー」は、年3回発行し、春日部市民の皆様にセンターの情報を積極的に発信して、会員増強・新たな就業開拓につなげていきます。また、会員報「ゆうゆうだより」は年4回発行し、会員相互の理解を深めるとともに、講習会や情報の発信に努めます。
- ④ センターのホームページの、トップページには最新の情報を更新し、センターのイベントや内容を「見やすく、わかりやすく」心がけ発信し、閲覧数を増やすよう努めます。
- ⑤ 地域のイベントに積極的に参加して、センターの活動、取り組みを周知し普及啓発を図っていきます。

(7) シルバー学校の継続

- ① シルバー学校は、市民の皆様にセンター事業を知っていただき、関心を持っていただける事業です。
シルバー学校を通じて、会員数の増強および受託事業の拡大を図り開校するものです。

【植木学校】

座学… 3日間（2月予定） 実技… 3日間（3月予定）

【襖・障子張り学校】

座学と実技… 4日間（2月予定）